

水道管も冬支度を！

◆寒さが厳しい時期に備えて、水道管も冬支度しましょう。

○気温に注意する。

水は氷になると、体積が膨張します。その急激な膨張で水道管が破裂してしまいます。

○北向きの日陰

○風当たりが強い外

○むき出しになっている水道管

は、気温がマイナスにならないと凍ってしまう場合があるので注意が必要です。

水道管が破裂した場合、工事費・漏水した水道料金は、自己負担となりますのでご注意ください。

○対策方法

①まず水道メーター位置を確認！

水道管が破裂しても、メーター位置がわからない！ってことになることも。対策も兼ねて、あらためて位置の確認を行ってください。

②メーターボックス

地下式メーター器は、保温材（発泡スチロールなど）を入れます。地上式メーター器は、プラスチックの箱や段ボールなどをかぶせます。

③露出している蛇口または水道管

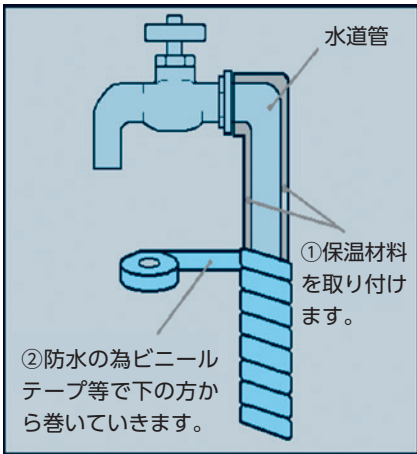
毛布・タオル・発泡スチロール製の筒やポリエチレン製の筒などで覆い、雨水などが侵入しないようにビニールテープなどで下から巻いていきます。

○その他の予防策

温水器やボイラー、湯沸かし器などの水抜きも凍結予防に効果があります。水抜き方法は、説明書を見るか、メーカーに問い合わせてください。



▲メーターボックス（地下式）



▼問い合わせ 水道課 ☎ 75-3003

『年末年始の火災予防』

年末年始は、何かと忙しいため、火に対する注意がおろそかになりがちです。一人ひとりが防火に心がけ火災の無い穏やかな新年を迎えましょう。

ポイント

①住宅防火について

- 寝たばこは、絶対しない。
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- コンセントに付着したホコリは取り除く。
- ガスコンロは火を消してから離れる。
- もしもの火災で逃げ遅れないために、住宅用火災警報器を設置する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。



②放火の防止について

- 建物のまわりには、燃えやすいものを置かない。
- 夜間、建物の周囲や駐車場は、照明を点灯して明るくする。
- 空き家、物置にはカギをかける。
- 車やバイクなどのボディーカバーは、燃えにくいものを使う。



③住宅用火災警報器について

- 月に1回程度は、作動点検をする。
- 定期的に掃除する。
- 電池切れに注意する。

▼問い合わせ 佐賀広域消防局 予防課 ☎ 33-6765

